

広域道路ネットワークのイメージ(案)

【STEP1】 3つの観点から拠点を設定

(赤字:修正箇所)

【拠点と経路のイメージ】

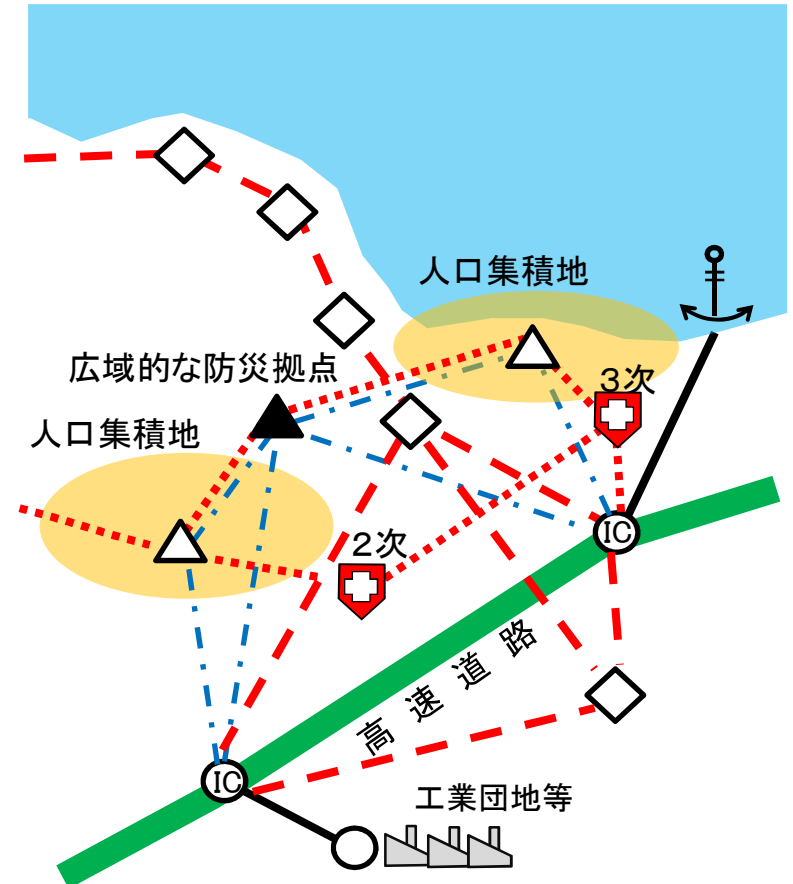
- ①物流・・・重要港湾、インターチェンジ
工業団地、物流拠点等
- ②人流・・・**<観光>**観光地(点、線、面があり)
<日常>高次医療機関、**人口集積地**等
- ③防災・・・防災拠点(京都府、市町村地域防災計画を反映)
府庁、府総合庁舎、市町村役場(支所)、自衛隊駐屯地、道の駅等
(防災計画上、広域・狭域に差があり)

【STEP2】それぞれの関連する拠点同士を結ぶ

高速道路をメインとし、国道、府道で補完する

【STEP3】経路によって求められるレベルを設定

- ①物流・・・国際海上コンテナ車が通行できる(定時性、幅員、高さ、重量)
複数経路は、高速道路ネットワークの中で確保
- ②人流・・・観光バスがすれ違える(定時性、幅員)、厳しすぎない線形
人口集積地間及び人口集積地から医療機関へは、確実にアクセスできる
- ③防災・・・災害に対する安全性が一定確保できる防災上の広域的な拠点は、
ICからの直接接続経路＋一般拠点経由の間接接続経路の2経路が必要
相互に助け合う関係がある拠点同士は、複数経路を確保
府県をまたぐ隣接市町村で相互応援協定がある場合は、経路を確保



(凡例) 【拠点】		【経路】
○	物流拠点	— 物流
◇	観光地	- - - 人流(観光)
⊕	医療機関	⋯⋯⋯ 人流(日常)
△	防災拠点	- · - · 防災

広域道路ネットワークに求められる道路の機能(修正案)

		速達性・定時性	道路構造規格	災害に対する信頼性	複数経路確保の必要性
(高速道路)		◎	◎ (国際海上コンテナ車等)	◎	◎ (全国ネット)
1 物流に資する道路		◎	◎ (国際海上コンテナ車等)	◎	○
2 人流に 資する道路	観光	速達性:○ 定時性:◎	○ (観光バス)	○	○
	日常生活 (医療等)	○ (平常時には一般車での利用多い)	—	◎	○
3 防災に資する道路		—	○ (復旧支援車両)	◎	◎

(赤字:修正箇所)

【参考:第2回委員会配付】

		速達性・定時性	道路構造規格 (幅員、高さ、重さ)	災害に対する信頼性	複数経路確保の必要性
(高速道路)		◎	◎	◎	◎ (全国ネット)
1 物流に資する道路		◎	◎	◎	○
2 人流に 資する道路	観光	○	○	○	○
	医療	○ (平常時には一般車での利用多い)	—	◎	◎
3 防災に資する道路		—	—	◎	◎

◎:強く求められる ○:求められる —:関連性が低い